

第67回高齢者排泄ケア講習会

日時：令和4年2月26日（土）15:00～16:50

開催形式：オンライン開催

参加費：無料 Field*：A 排尿管理

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険他） 詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：導尿とカテーテルに強くなろう

開会の挨拶：武井実根雄 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局長）

座長：武井実根雄 先生（原三信病院泌尿器科 部長）

情報提供：親水性間欠泌尿器用カテーテルアクトリーンのご紹介 株式会社 大塚製薬工場

講演：『カテーテル操作の実際』

講師：宮川みどり 先生（原三信病院看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師）

～講師からのコメント～

導尿やカテーテル留置の排泄ケアは日常的に欠かせない看護技術です。しかし中々挿入できない症例もあります。尿道の中を見ながらカテーテルの挿入ができないため、尿道損傷などのリスクが伴い、できることであれば処置を避けたいと思う時もあります。その時のために少しでもカテーテルの種類や特徴、カテーテル操作を知り、恐怖心なくできるようなコツをお伝えできればと思います。

講演：『自己導尿管理のコツと最近のカテーテル事情について

～自己導尿管理の実態調査を含めて～』

講師：高橋良輔 先生（総合せき損センター泌尿器科 部長）

～講師からのコメント～

自己導尿が必要な患者さんにとって、導尿は日々の行為であり、その負担は決して小さくはありません。最近、脊髄障害患者さんを対象としたWEBを用いたアンケート調査をおこない「自己導尿管理の実態とその負担、および尿路感染症の頻度」について調査する機会がありました。本講演ではその結果をご紹介しながら、自己導尿管理のコツと最近のカテーテル事情についてお話ししてみたいと思います。

閉会の挨拶：今丸満美 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、株式会社 大塚製薬工場

後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会